

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年10月21日（月）

### 2 確認箇所

- ・地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア）
- ・1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

### 3 確認項目

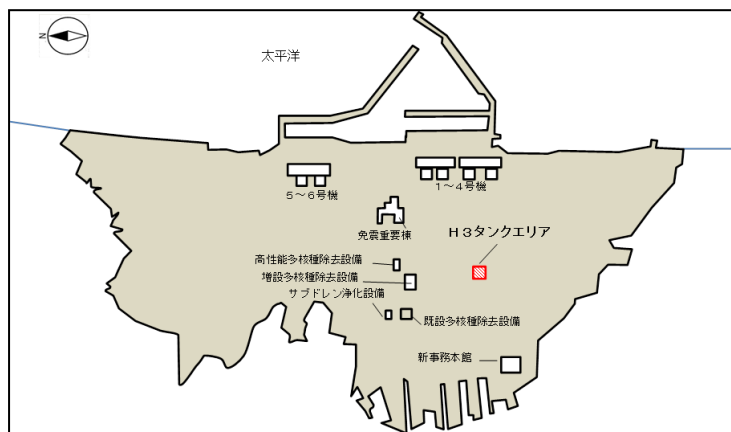
- （1）地下水バイパス一時貯留タンクエリアの現況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）地下水バイパス一時貯留タンクエリアの現況について

前回（[9月17日](#)）に引き続き、地下水バイパス汲み上げ水が貯留されているH3タンクエリアのフランジ型タンクの現況を確認した。なお、H3タンクエリアには計9基の地下水バイパス一時貯留タンクが設置されており、前回は堰や堰内の状況を確認したが、本日はタンク、移送配管、堰内の状況を確認した。（写真1）

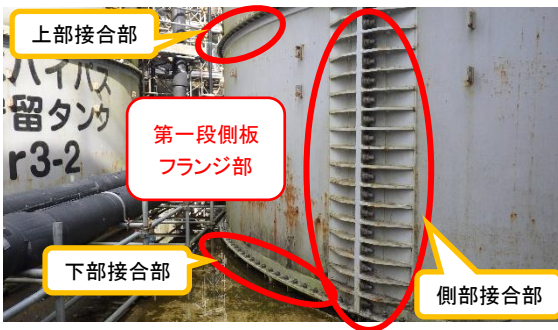
- ・フランジ型タンクの漏えいリスク低減対策として、第一段（タンク最下段）のフランジ部（写真2）に防水材（シール材）が施工されており、全9基のタンクで漏えいにつながるシール材の劣化は確認されなかった。（写真3）
- ・タンクの側板に塗装の剥離や錆の発生が見られたが、目視した範囲では漏えいの痕跡は確認されなかった。（写真4）
- ・移送配管の一部で保温材の劣化が見られたことから、東京電力に状況を連絡した。（写真5）
- ・堰内に土砂の堆積等が確認された。（写真6）



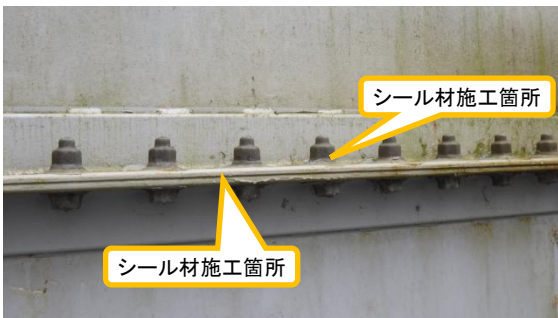
（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



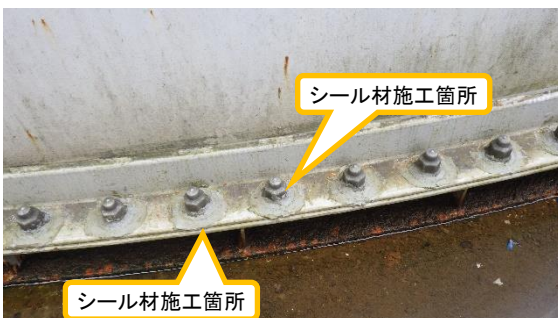
(写真1)  
H3タンクエリアの状況（南東側から撮影）



(写真2)  
第一段側板フランジ部の状況



(写真3-1)  
第一段側板フランジのシール材の施工状況①（上部接合部の一例）



(写真3-2)  
第一段側板フランジのシール材の施工状況②（下部接合部の一例）



(写真3-3)  
第一段側板フランジのシール材の施工状況③（側部接合部の一例）



(写真4)  
タンク側板表面の状況  
(Gr2-1タンクの例)



(写真5)



(写真6)

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は10月7日から3ブロック目の解体作業が開始され、台風19号の影響により作業が中断されていたが、本日(10月21日)、切断作業が再開されたことから状況を確認した。

- ・現場確認時(11時30分頃)、排気筒頂部に解体装置(筒身切断装置)が設置されていた。(写真7)
- ・東京電力によると、9時40分に解体装置(筒身切断装置)の吊り上げを開始し、動作確認をしながら10時18分頃に解体装置を排気筒頂部に設置したとのことであった。



(写真7)  
排気筒頂部に設置された解体装置  
(筒身切断装置)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。